

日中戦争期上海の朝鮮人社会について
～上海居留朝鮮人会の活動と日本人社会への編入を中心に～

愛知大学非常勤講師 武井義和

・はじめに

(1)先行研究

<日中戦争期の上海朝鮮人に関する主な先行研究>

①孫安石氏：『1920年代、上海の朝鮮人コミュニティ研究』（1997年度東大博士学位提出論文）。

→1920年代のフランス租界に形成された朝鮮人コミュニティの研究。

「1932年は上海の朝鮮人コミュニティが崩壊した年ではなく、日本の帝国主義への強制的な編入、または変質が開始された年であったといえる」（37頁）

②孫科志氏：「上海韓人社会性質的変遷」（『二十七年血与火的戦闘』人民教育出版社、1998年）。

→「1930年代以降、朝鮮人社会は次第に親日社会へと変質した」（140頁）

③高綱博文氏：「外務省警察から見た上海の朝鮮人コミュニティ」（『歴史学研究』860号、2009年11月）。

→1932年「以前はフランス租界を中心に独自に存在した朝鮮人コミュニティは、同事件〔上海天長節爆弾テロ事件：報告者注〕以後は共同租界の虹口地域にあった上海日本人コミュニティに半ば強制的に編入されることとなった。」（58頁）



1932年以降の朝鮮人社会＝親日への変質期、日本帝国主義（または上海日本人社会）への強制的編入

(2)課題

- ・「親日社会への変質」のプロセスについての再検討。
- ・日本人社会への「強制的」編入についての再検討。

1. 日中戦争以前の上海朝鮮人社会

- ・ 朝鮮人の法的地位：日本国籍（1910年～1945年）、上海日本総領事館による監督・捕
捉の対象。

(1) 1920年代～1932年の朝鮮人社会〔1〕

- ・ フランス租界が多く朝鮮人居住地。【資料1】
- ・ 日本人社会と分離した
- ・ 1919年、「韓国臨時政府」フランス租界に誕生。→上海は朝鮮独立運動の拠点の1つとして存在。

「韓国臨時政府—僑民団」の社会構造形成。

※僑民団：韓国臨時政府の下部組織。行政組織。居留民の自治機関。「仁成学校」（朝鮮人小学校）経営。

CF. 同時期の日本人社会〔2〕

- ・ 共同租界北部、特に虹口地区を中心に形成。
日本人は共同租界北部から閘北にかけて居住。【資料1、2】
- ・ 日本人社会構造
上海総領事館—上海居留民団—各路連合会—町内会
|
自警団、在郷軍人会

(2) 「親日」朝鮮人団体の誕生（1933年）

①1933年、上海朝鮮人親友会の誕生（1934年「朝鮮人会」に変更）

- a) 背景：1932年、^{ユンボンギル}尹奉吉による新公園事件（虹口事件）の発生
⇒(1)の社会構造動揺。

→フランス租界当局の態度硬化、フランス租界居住の独立運動家逮捕、「韓国臨時政府」のフランス租界撤退。

「僑民団」、1934年頃まで上海華界（南市）に存在、但し勢力衰退化。〔3〕

b) 上海朝鮮人親友会の組織と目的

- ・ 組織と方針〔4〕

事務所：虹口靶子路206号、日本人YMCA2階。

綱領：我等ハ親睦及団結ヲ図ル

我等ハ智識啓発及生活ノ向上ヲ期ス

役員：委員長 柳寅発／副委員長 李昌夏／庶務部委員 金宇鎮、韓尚輝／

教養部委員 吳秉億、李容魯／社会部委員 金昌洙、李聖尚／調査部委員

朴正淳、金鶴天／宣伝部委員 姜麟九、許承福／フランス租界区長 金鶴天／吳淞路区長 金景洙／北四川路区長 姜麟九／揚樹浦区長 朴鳳雲

- ・大きな目的は朝鮮人児童の教育。

【資料】柳寅発の朴昌世（独立運動家・義警隊長）に対する発言

「…虹口地帯ニ於テ活動セントセバ領事館ノ命ニ逆フコトヲ得ズ從テ表面的ニハ其ノ指揮ニ服従スルモ親友会ノ真ノ目的ハ鮮人ノ地位向上差当リ児童ノ教育ニアリ貴下等ニ何等カノ利益トナルコトアレバ通知スベシ…尚親友会ハ当局ヨリ援助スル筈ナシ現ニ正式許可スラ与ヘザル状況ナリ」〔5〕

（※太字ならびに下線は報告者による）

2. 上海居留朝鮮人会の成立（1935年）

(1) 成立の背景

- ・朝鮮人会内部の対立、会の不円滑

例) 会費徴収成績不良のために財政難→何も活動行えず、李昌夏除名。〔6〕

- ・残余の幹部による李甲寧への協力依頼。

→1935年3月「朝鮮人会」解散、「上海朝鮮人居留民会」成立→同年12月「上海居留朝鮮人会」と改名。〔7〕

(2) 上海居留朝鮮人会の組織

綱領：「上海居留朝鮮人会規則」抜粋第4・5条を参照。

…朝鮮人の利益とその増進を目的。教育や生活。

役員：会長 李甲寧、総務 李聖昌、書記 韓尚輝・金応鎮・李昌夏、

参事 申秉均（議長）・白利淳・金聖珠・朴日碩・金觀教・李相祐

河隠益・鄭元吉・金滋鍊・金小登九・朴正淳

評議員 上田領事・佐伯副領事・青柳領事・田島署長（総領事館関係者）・

一杉事務官（朝鮮総督府関係者）・島津岬（上海日本人基督教青年会総主事）・古屋孫次郎（上海中日組合協会牧師）〔8〕

↓

評議員は日本人官民、特に総領事館が中心、日本人の関与が明確。

また、佐伯副領事の「努力」で東京の原田積善会から年額 3,000 円の寄付と政府の補助を得るようになる。〔9〕

- ・評議員会の権限の大きさ：「上海居留朝鮮人会規則」抜粋第11・25条を参照。
- ・朝鮮人会独自の権限の弱さ：「上海居留朝鮮人会規則」抜粋第8条を参照。

…罰則規定の弱さ、総領事館の指示を仰ぐ形式。【資料3】

→上海居留朝鮮人会はそれまでの組織よりも日本人の存在感が大きくなった。

しかし、彼らの具体的な関与は不明。

(3)主な活動

養正幼稚園の開設／無料宿泊所の開設／職業紹介所の開設／人事相談、国語講習 [10]

【資料】「…先づ思想善導を目標に 一、養正幼稚園の開設 一、無料宿泊所の開設 一、職業紹介所の開設 一、人事相談、国語講習 等を開始し、其他一般指導に全力を尽したる結果、仏租界並に旧英租界に居住する灰色分子も密に虹口へ移転して、その子弟を同幼稚園或は日本小学校に就学せしむる者続出し、漸く予定の成果を挙ぐるに至れり」[11] (※下線は報告者による)

・考えられる背景：

a) フランス租界にあった「仁成学校」の上海総領事館の圧力による閉鎖(1935年) [12]

b) 上海朝鮮人人口の増加と共同租界への居住者増加。

【資料2、4参照】

⇒全く影響力がなかったことはなからうが、実際に「灰色分子」をどれだけ感化し得たか。また上海居留民団立学校への入学などで、毎年新たに渡来した朝鮮人をどこまで取り込んでいくことができたか？

3. 第二次上海事変勃発(1937年8月)と上海居留朝鮮人会

(1) 第二次上海事変期の「親日活動」=対日戦時協力活動 [13]

①李甲寧、日本人社会の時局委員会宿舍班(=宿舍給養部)の一員として避難民の收容保護の任務を担当。

→フランス租界居住者で思想的に「問題ある」朝鮮人が虹口地区に立ち入ることを防諜の観点から防ぐため、上海居留朝鮮人会の会員と識別するために腕章や身分証明書を作成。

②上海居留朝鮮人会、事務所所在地の靶子路自警団に参加。

→また、独立運動家の避難民を装っての潜入防止のため、朝鮮人自警団を組織し取り締まりに従事。

③李甲寧、会幹部役員と避難中の青壮年を動員して3,000個の土囊作成。延べ140名以上動員。

④楊樹浦飛行場建設のために毎日上海居留朝鮮人会より50~60名を派遣。延べ650名。重傷者6名(7名戦死傷とも)。

⑤中国側の戦死者死体約500体の片付けに従事。

⑥軍部よりの委嘱により油紙・白布の材料を受け、会員家庭の婦女子延べ人員 1,200 名が包帯用約 2,500 個を作成（1937 年 10 月～12 月）。

⑦軍の要請により朝鮮人女性 36 名応召、傷病兵の看護に従事。

(2)第二次上海事変後の活動

・会員数増加（会費完納者のみ）

1937 年 7 月時点 260 名、1938 年 10 月 413 名、1939 年 10 月 643 名、

1940 年 10 月 1,695 名〔14〕

→職業層、朝鮮人人口に占める割合は不明。

①「親日活动」

<対日戦時協力活動>〔15〕

a) 上海朝鮮人会貯蓄会の結成（1938 年 5 月）

→李甲寧提唱、有力者 40 名参加。冗費節約・貯蓄報国を目的。

→1938 年 10 月末、総額 2,448 円

b) 各種献金活動の展開

・時局認識銃後支援運動の展開（1938 年）

→国防献金 225 円を募集し献納。

・忠霊表彰会への献納（1940 年 2 月）

→献金を募集し 1 万 1,232 円、936 元の献金を集め献納。

②日本人社会の戦時体制への参加：上海青年団への参加

※上海青年団一錬成組織、15 歳～40 歳の男性で構成。

職域別（官庁、銀行、会社、新聞社など）、地区別に単位青年団を組織。青年団本部が統括。〔16〕

・1940 年 9 月 上海居留朝鮮人会、「鷄林青年団」を結成、上海青年団に参加。

会員 148 名（会長李甲寧）。

1942 年 鷄林青年団 90 名。鷄林青年団、表忠塔の清掃。〔17〕

4. 地域における朝鮮人と日本人との混在化

(1)日中戦争前半期の朝鮮人人口と職業

①人口：増加の傾向。戦争を契機として日本人との混在化顕著。【資料 5-1、5-2】

考えられる理由…

②職業：商工業、戦時関係の業種。多岐にわたる。【資料 6】

※戦前からの居住者と新渡来者の割合不明。

・上海渡来のあり方：移動に伴う法的統制【資料7】

「不良分子の渡支取締方に関する件」（1937年8月、外務省米機密合第三七七六号）

「渡支邦人暫定処理要綱」（1940年5月、外務省米機密合第三七七六号）

(2)日本人による日本人社会への朝鮮人の社会的編入

①上海自警団への動員

※上海自警団（1940年）〔18〕

- ・目的と性格：「重慶政府のテロ出沒或は中国の軍事政治的陰謀計画に参画せる不逞分子等に対し治安取締りテロ防止の目的を以て組織し警備当局指導監督の下に活動する自治機関」
- ・構成：町内会を母体とする班(自警班)が基本単位（1940年12月時点で78班・7,956人）。この総合事務所が自警団本部（団長1名、副団長2名）。また、本部には運営指導の方策を協議する、地区代表有力者で構成される理事会を設置。
- ・運営：当初は各路連合会（初代会長・林雄吉）、1941年各路連合会と上海居留民団の合併が進展して後は、同年11月上海居留民団長が会長に就任。

<上海自警団による朝鮮人動員の意図>

【資料】『大陸新報』1941年1月12日記事

「…自警団組織に八万居留民全ての参加が要望されてゐるが在留邦人中に含まれる半島同胞は現在七千五百余名、又台湾同胞は三百余名にのぼつて居り之等の邦人も日本国民として此国民組織に参加せねばならぬ義務があるので自警団本部では十三日午後二時から本部に朝鮮人居留民会側並に台湾公会側幹部を招致して懇談会を開き、全半島同胞並に台湾同胞の参加を要望して全居留民の結束を固めることになつた（以下略）」

（※太字ならびに下線は報告者による）

『大陸新報』1941年1月14日記事

「…自警団組織は現地新体制樹立に伴ふ邦人の細胞組織なので何れも国民の一員として参加する義務があるとして夫々役員会を開いて協議を行ひ半島同胞七千五百余名台湾同胞三百余名が一丸となつてこの組織に参加し自警任務の完全遂行を期する事で決定した」

（※太字ならびに下線は報告者による）

②上海居留朝鮮人会の上海居留民団への統合

→1941年4月1日、上海居留朝鮮人会は上海居留民団に統合。〔19〕

- a) 背景：1940年12月、朝鮮総督府派遣員の上海総領事館内への移転。〔20〕
→それに伴う上海総領事館の朝鮮人指導方針。

【資料】

「内鮮一体」促進と朝鮮人の皇国臣民化を根本原則とし、漸次朝鮮人会等の民族的既成諸団体を解消し、最初より内鮮を混合することに依り其の融合一体化を企図す」（※太字ならびに下線は報告者による）〔21〕

- b) 統合後の状況

1942年当時、上海居留民団では社会課証明係が主に朝鮮人担当の部署となる。
→諸届出、人事相談など。〔22〕

③上海居留民団による朝鮮人戦時動員活動

- ・1944年、朝鮮への徴兵制実施に関する特別訓練

【資料】

「…日本精神の涵養を図り先づ国語を解せざる之等同胞に対し皇民教化講習会を毎週二回開催し国語の教養に併せ皇民強化を実施しつゝあり 又半島及台湾同胞には在郷軍人なる制度なきに鑑み非常事態に備ふると共に体位の向上と戦意の昂揚等を目的として満二十才より三十才迄の青壮年をして毎週二回所要の学科及軍事訓練を実施しつゝあり」〔23〕

8. おわりに

(1)まとめ

- ①「上海居留朝鮮人会」が登場するまでは親日行為が不明瞭（会成立後も1937年まで）。
- ②上海居留朝鮮人会の親日行為をみてきたが（特に日中戦争勃発後）、どれほどの朝鮮人を動員できたか＝在留人口に占める会員の割合の問題が課題。
- ③「編入」について、1）日中戦争勃発まで強制的に日本人社会に編入されたとは言い難い。2）日中戦争勃発後に日本人と混在する朝鮮人が増加するが、強制的な居住とは言い難い。3）一方で、日本人の側から朝鮮人を日本人戦時社会へ編入する「強制的な」動きが出てくるのは1940年以降であり、1932年を以てすぐに「強制的」となったわけではない。

(2)今後の課題

- ①上海居留朝鮮人会の位置付けについてのさらなる検討。
- ②親日／反日ではなく、朝鮮人社会のグレイゾーンの解明。

③上海在留台湾人も視野に入れた研究。

注

- [1] 孫安石『1920年代、上海の朝鮮人コミュニティ研究』37頁（1997年度東大博士学位提出論文）、孫科志「上海韓人社会性質的変遷」140頁（『二十七年血与火的戦闘』人民教育出版社、1998年）を参照。
- [2] 高綱博文『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版、2009年）所収の「第1章 上海日本人居留民社会」を参照。
- [3] 金正明編『朝鮮独立運動Ⅱ 民族主義運動篇』500頁、509頁（原書房、1967年）、『外務省警察史』第45巻、317頁、318頁、336～337頁（不二出版、2000年）、同第46巻、38～39頁、62頁、63頁（不二出版、2001年）。
- [4] 上海居留民団編『上海居留民団三十五周年記念誌』1001頁（1942年）。以下『民団誌』と略記。
- [5] 『外務省警察史』第46巻、21～22頁（不二出版、2001年）。
- [6] 前掲『民団誌』、1003～1004頁。
- [7] 同上、1003～1004頁。
- [8] 同上、1006頁。
- [9] 同上、1006～1007頁。
- [10] 同上、1007頁。
- [11] 同上。
- [12] 朝鮮銀行京城総裁席調査課『内地、支那各地在住の半島人の活動状況に関する調書』104頁（1942年）。
- [13] 朝鮮総督府官房外務部『中華民国在留朝鮮人概況』66～72頁（1939年）。
- [14] 前掲『内地、支那各地在住の半島人の活動状況に関する調書』108頁（1942年）。
- [15] 前掲『中華民国在留朝鮮人概況』69頁、李甲寧「上海朝鮮人の実情」125～126頁（『三千里』13巻4号、1941年4月）。
- [16] 前掲『民団誌』1215～1230頁、「上海青年団」の項目を参照。
- [17] 前掲「上海朝鮮人の実情」126頁。
- [18] 前掲『民団誌』1089～1090頁。
- [19] 同上、1008頁。
- [20] 前掲『内地、支那各地在住の半島人の活動状況に関する調書』108頁。
- [21] 同上。
- [22] 前掲『民団誌』999頁、上海居留民団『名誉職並関係職員名簿』（1944年）。
- [23] 上海居留民団『第三十八回上海居留民会書類』24頁（1945年）。

主な参考文献、資料

【参考文献】

〔日本語〕

- 大蔵省管理局「第二部 我が対華経済活動と在華投資」(『日本人の海外活動に関する歴史的調査』第27冊、中南支編第一分冊、1947年)。
- 幸野保典「第一章補論 『在支半島人名録』一九四二年版の統計分析」(『青丘学術論集』第23集、韓国文化研究振興財団、2004年)。
- 柴田善雅『中国占領地日系企業の活動』(日本経済評論社、2008年)。
- 孫安石『1920年代、上海の朝鮮人コミュニティ研究』37頁(1997年度東大博士学位提出論文)。
- 高綱博文『「国際都市」上海のなかの日本人』(研文出版、2009年)。
- 高綱博文「外務省警察から見た上海の朝鮮人コミュニティ」(『歴史学研究』860号、2009年11月)。
- 高綱博文編『戦時上海 1937～1945』(研文出版、2005年)。
- 田中隆一『満洲国と日本の帝国支配』(有志舎、2007年)。
- 外村大『在日朝鮮人社会の歴史学的研究』(緑蔭書房、2004年)。
- 日本上海史研究会編『上海史』(東方書店、1995年)。
- 日本上海史研究会編『上海人物誌』(東方書店、1997年)。
- 堀場一雄『支那事変戦争指導史』(原書房、1973年)。
- 宮本正明「第一章 戦時期における朝鮮人の中国大陸“進出”」(『青丘学術論集』第23集、韓国文化研究振興財団、2004年)。

〔中国語〕

- 金光載、孫科志『上海的韓国文化地図』(上海錦綉文章出版社、2010年)。
- 孫科志「上海韓人社会性質的変遷」(『二十七年血与火的戦闘』人民教育出版社、1998年)。
- 金仁鍋「太平洋戦争時期朝鮮人資本家的“中国侵略”」(『抗日戦争研究』2006年第1号)。

〔朝鮮語〕

- 孫科志『上海韓人社会史 1910～1945』(図書出版ハヌル、2001年)。

【資料】

〔日本語〕

- 外務省記録『支那事変ニ際シ邦人ノ渡支制限並取締関係雑件』所収の「不良分子の渡支取締方に関する件」(1937年8月、外務省米機密合第三七七六号)、「渡支邦人暫定処理要綱」(1940年5月、外務省米機密合第三七七六号)。
- 外務省記録『在外帝国居留民団及民会関係雑纂(上海ノ部)』第2巻所収の「上海居留民団立学校一覧 昭和六年五月調」、同第4巻所収の「上海居留民団立学校一覧 昭

和十一年八月」。

『外務省警察史』第46巻、21～22頁（不二出版、2001年）。

外務省東亜局第三課『中華民國在留本邦人及第三国人人口該計表』（1941年1月1日現在、1941年4月1日現在）。

大東亜省総務局調査課『中華民國在留本邦人及第三国人人口該計表』（1942年10月1日現在）。

上海居留民団編『上海居留民団三十五周年記念誌』（1942年）。

上海居留民団『名譽職並關係職員名簿』（1944年）。

上海居留民団『第三十八回上海居留民会書類』（1945年）。

朝鮮銀行京城総裁席調査課『内地、支那各地在住の半島人の活動状況に関する調書』（1942年）。

朝鮮総督府官房外務部『中華民國在留朝鮮人概況』（1939年）。

李甲寧「上海朝鮮人の実情」（『三千里』13巻4号、1941年4月）。

[朝鮮語]

李甲寧「上海의 近況과 在留朝鮮人生活相」（『三千里』12巻7号、1940年7月）。

【新聞】

[日本語]

『大陸新報』。

[朝鮮語]

『東亜日報』。